

# 夕張川かわら版

「夕歩道」とは夕張川と流域住民をつなぐ川の道です

# 夕歩道

平成18年 晩秋

其の七



魚はどこぞー！



あ、魚が入っているよ！



川の成り立ちのお話を聞きます。



こうやって追い込んで捕まえるんだ。

当日はあいにくの悪天候だったので回復を待ちのスタート。待ちかねた子ども達が元気よく川にやってきました。本日のメニューは「魚捕り」と「魚類の観察会」。網を受け取った子ども達は、川の成り立ちについての話を聞いた後、いよいよ魚捕り。時折雨が降ってきましたが、子ども達の熱気を冷やしきるまでには至らず、終了時間まで元気いっぱい魚を捕っていました。中には25cm以上の大物を捕まえたツワモノもいて、周りの大人達を驚かせていました。



魚が獲れたよ！



大きい魚がいるなあ～



魚の話に熱心に耳を傾ける子ども達。



大変よくがんばりました♪

## H17.10.3 石組みを造りました。



80cmくらいの淵ができています。



## H17.4.5 融雪洪水でも石組みはだいじょうぶ！



H17.7.13 草がボウボウです。

◆石組みはどうなっている！？  
昨年この場所で、子ども達の手によって、川に石組みが造られました。融雪洪水に耐え、なんと1年経った現在も健在です。石組みを造った結果、川の流れに変化が起き、下流に淵ができていました。

## 夕歩道の紙面の色は、どうしてこの色？

じつは、この紙面の色は茶色く濁っている「夕張川の川の色」をイメージしています。濁りの要因のひとつとして、夕張市立のぞのみ小学校の体験学習レポートにあるように、地質的にシルト成分が溶け出しやすいためです。そんな夕張川の色を地域の個性、地域の味として受け止めたいという気持ちから、この色にしています。



茶色く濁っている川の色(夕張川栗沢頭首工下流)

釣り愛好家の中で、難易度が高いと評判のヘラブナ。ゲンゴロウブナを品種改良したのがヘラブナだそうです。写真のヘラブナは夕張川支流ウエンベツ川の川上流で獲りました。さて、ゲンゴロウとは人の名前ですが、どうしてこんな名前がついたのでしょうか？

むかしむかし、人間なのに雷さんの弟子になった「源五郎」が、雲の上から雨を降らせているうちに足を滑らせて琵琶湖に落ち、溺れて魚になったという言い伝えからなのです。

◆ヘラブナ(ゲンゴロウブナ)  
本来は琵琶湖固有の種だそうです。ギンブナなど、他のフナ類と比較して体高が高く、真横から見ると菱形体型。大きなものでは60cm以上に達するそうです。寿命は長く、なんと数十年生きるとも！繁殖期は4月から6月で、この時期になると水草や岸辺の草の根などに卵を産み付けます。  
※資料出典「ウキベティヤ」



上がコイ、下がヘラブナ。

## 夕張川クイズ

問 このがけ(穴)に住んでいる生き物はなんでしょう？



穴の大きさは直径5～9cm、深さは約1m  
河岸のがけに生息しています。  
A.ヘビ B.鳥 C.イタチ  
※答えは一番最後です。

## こんなに違う？川の景色

下の2枚の写真は同じ場所を、ほぼ同じアングルで撮影した写真です。水位の差は約2.0cmですが、川の状況はこんなに変わります。



昨年(水位7.12m)



今年(水位6.93m)

こんなに違います。

『夕張川・川の楽習会』も今年で3年目を迎えました。昨年同様、「川の成り立ちを知る」、「魚を捕る」という、二つのテーマに沿った学習が行われました。今年は河川の水位が低く、昨年は活動できなかった場所でも魚捕りや川歩きをすることができました。

# 夕張川・川の楽習会

# カワガキを育てよう！！

## テーマ①川の成り立ちを知る



昨年の様子。

このあたりは昨年とは違って歩きやすそうですね。

川の瀬や淵などの構造と川のわたり方を学びました。

昨年何人かが流れていましたが、今年はみんなで川流れ。

## テーマ②魚を捕る



今年は下流側の1号止め付近でも魚捕りができました。

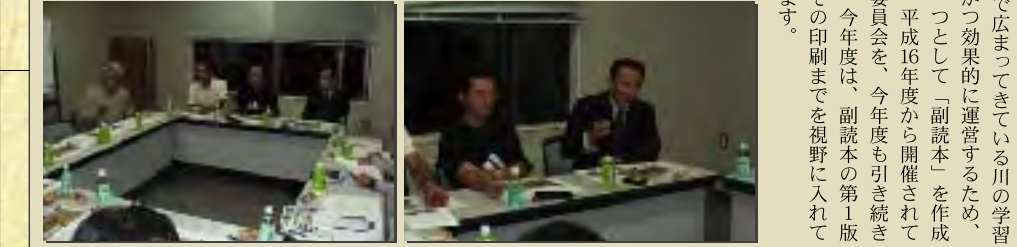
妹尾さんによる投網。相変わらず見事な腕前ですね。網がきれいに開きます。

恒例の観察会、今年も色々な魚が捕れました。

捕れた魚など ウグイ、エゾウグイ、モツゴ、ギンブナ、ヨシノボリ、シマウキゴリ、ワカサギ、フクドジョウ、カワヤツメ、モクスガニ、スジエビ、ヨコエビ

## 夕張川 川の学習手引書 編集委員会

●日 時/平成18年9月14日(木)  
●場 所/カルチャープラザ「Eki」 栗山町中央2丁目1番地  
●参加者/夕張川流域住民有志、江別河川事務所



改修前の阿野呂川と夕張川本流の合流部で、角田神社裏手にあったとされる渡船場。

長沼町と栗沢町を結ぶ長栗橋あたりにあった渡り、経営者や船頭の名をとって別名「木村渡し、江川渡し」とも言われた。

●日 時/平成18年9月14日(木)  
●場 所/南幌町清幌床止め  
●主 催/夕張川なんでも探検隊  
●共 催/南幌町立みどり野小学校 栗山町いきもの里づくり推進協議会  
●協 力/江別河川事務所  
●参加者/みどり野小学校はじめ、夕張川流域住民

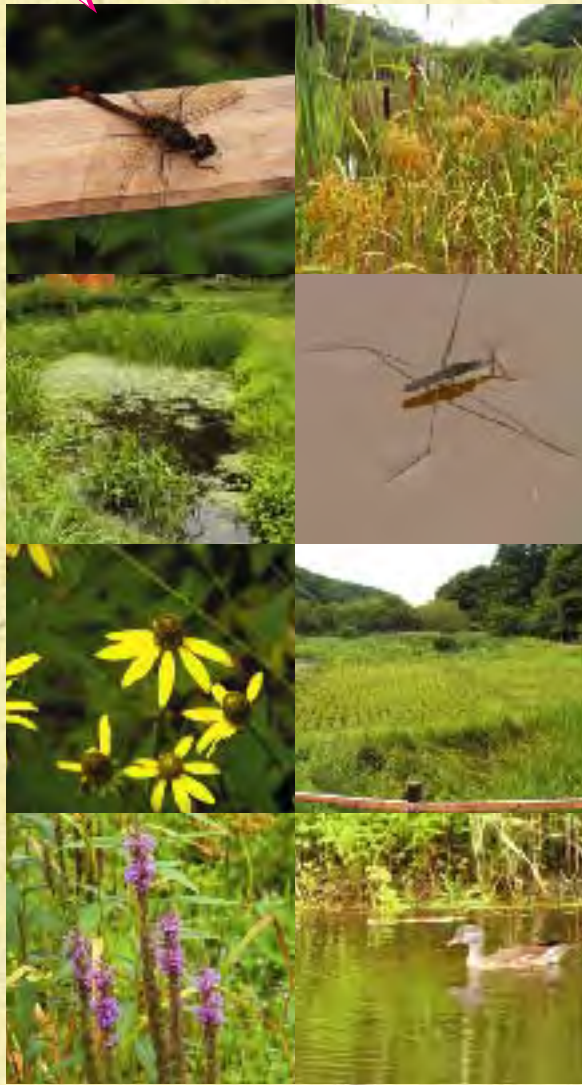
川と牛蒡  
かつて夕張川は、蛇行が激しく水害が頻発するため、橋をかけることが難しく、対岸への移動には渡船が利用されていました。夕張川流域にあったとされる渡船は個人が運営していたと思われ、渡しの名前には、渡し守の名前がついているものがありました。現在では、渡しがあった場所に説明看板や碑が造られており、当時を偲ぶことができます。

発行：江別河川事務所内 夕張川流域会議事務局  
〒067-0074 江別市高砂町5 電話.011-382-2358 FAX.011-382-3857  
問の答え B.鳥(ショウドウツバメ)  
集団繁殖を行うため、壁面には無数の穴があいている。この巣(穴)づくりは、雌雄の共同作業で、1～2週間で行う。

本誌は再生紙を使っています。



水辺の写真館「里山の初秋」  
栗山町ハサンベツで撮影しました。



子ども達が見つめてきた生き物  
30種全部載せましたあ



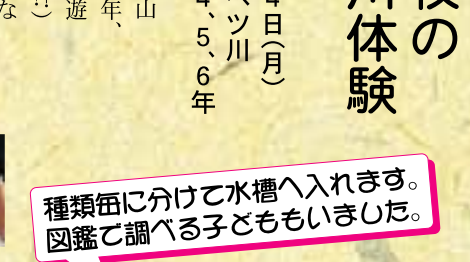
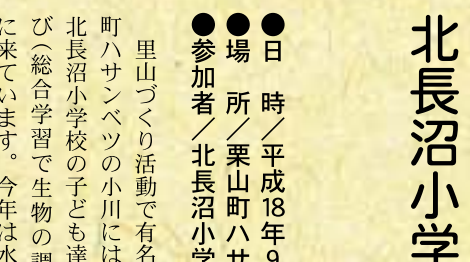
種名	生息数	備考
ウグイ	少ない	
エソウグイ	普通	道RDB留意種
ヤチウグイ	少ない	改RDB準絶滅危惧種
イバラトミヨ	普通	道RDB希少種
ドジョウ	普通	
エソホトケドジョウ	少ない	道RDB準絶滅危惧種
フクドジョウ	少ない	
ヨシノボリ	多い	
ジュズカケハゼ	普通	
モツゴ	少ない	
ギンブナ	少ない	
キンブナ	少ない	
スジエビ	すごく多い	
スナヤツメ	少ない	環RDB絶滅危惧II類
カワニナ	多い	
マルタニシ	少ない	
シマイシビル	普通	
モノアラガイ	普通	
ツチガエル	4~5	成体
ガムシ	少ない	成虫
ゲンゴロウモドキ	少ない	成虫
コムズムシ	普通	
オオコオイムシ	普通	成虫・未成虫
ミズカマキリ	多い	成虫
マツモムシ	多い	成虫・未成虫
オオルリボシヤンマ	少ない	幼虫(ヤゴ)
オニヤンマ	少ない	幼虫(ヤゴ)
ホンサナエ	少ない	幼虫(ヤゴ)
コオニヤンマ	少ない	幼虫(ヤゴ)
コサナエ	普通	幼虫(ヤゴ)

レッドデータブック：RDBと略される。絶滅のおそれのある野生生物の情報をとりまとめた本。今、北海道のどんな生き物に絶滅のおそれがあるのか、そして守らなければならないのかをより多くの人々に知ってもらうよう作成された。北海道版と環境省版がある。

「楽しい！！」  
こんな授業なら毎日も大歓迎！？



軽トラックの  
荷台が教壇に！



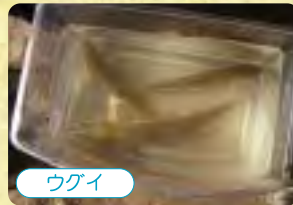
種類毎に分けて水槽へ入れます。  
図鑑で調べる子どももいました。

### 北長沼小学校の 川体験

- 日時／平成18年9月4日(月)
- 場所／栗山町ハサンベツ川
- 参加者／北長沼小学校4、5、6年

# 「里山の小河で 学ばななな遊んだよ」

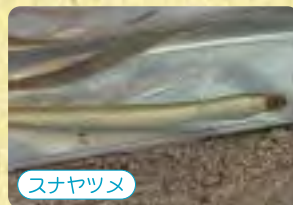
## 子ども達が 捕った魚



ウグイ



ハナカジカ



スナヤツメ

### こどもたちの感想2

川でわたりがいはんたのしかったことは魚をとったことです。らいねんもまたきてください



プカプカ浮いて、気持ちがいいわー

### こどもたちの感想1

プカプカうくのがたのしかったよ。せいしゅほ、プカプカうくのがこわかったけど、だんだん慣れてきてたのしかったよ



石が簡単に割れてコナブナに。これが水に溶け出して川は茶色に。夕張川の川の色の原因です。

### こどもたちの感想3

せいしゅほ、川のことちょっとしか、しらすかっただけど、今は川のことをべんきょううてよかったです



「絶対逃がさないぞ！」一列に並んで追い込み魚。



むずかしいけど、楽しいな♪



この日を楽しみにしてたよ。

# 川の体験学習

## 追い込み漁で一網打尽

- 日時／平成18年9月1日(金)
- 場所／夕張市紅葉山
- 参加者／夕張市立のぞみ小学校



ヒゲナガカワトビザラ。



この虫は、きれいな水にすんでいるんだね。水生生物による水質判定を学習。

夕張川の支流「ホルカクルキ川」で、夕張市立のぞみ小学校の2年生による、夕張市では初めての『川の体験学習』が行われました。  
“おはようございます！”元気がいい子ども達。まずは水生昆虫捕りからスタートです。「この虫がいる川はきれいな川だよ」、水生昆虫と水質の関係を学んだようです。次は魚捕り。すくったり、網に追い込んだりと奮闘して、たくさん魚を捕まえました。捕まえた魚を観察した後は、ポイント体験、川流れの体験も。子ども達の目がキラキラと輝き、自然と顔がほころびます。最後に川原の石の話を聞いて学習は終了。  
夕張市にこんなに素晴らしい資源があることを、他の子ども達にも伝えたいです。身近な自然と子ども達の元気な声は、地域の財産と実感した一日でした。